

高齢者の在宅療養を支える新たな取組の推進

移行期

安定期

終末期

(例: 肺ガンにより入院。手術等の治療後に退院し、在宅での抗癌剤治療、酸素療法等を継続しつつ、在宅での看取りを希望)

入院

退院

対応の方向

・入院から在宅での療養への円滑な移行を促進する。

・患者及び家族が安心できるような24時間対応可能な体制を確立する。

・住み慣れた場で最期を迎えることを選択できるよう、ターミナルケアの体制を充実させる。



○退院後の在宅医療を担当する医師、看護師等と病院等との連携を強化



(介護保険との連携強化)
○グループホーム、ケアハウスといった多様な居住の場での在宅医療を充実
○医師、看護師等医療職種とケアマネージャー等との多職種連携の一層の促進

(緊急時の対応)
○複数の医師の連携により常時往診、常時緊急入院を可能とする体制を強化



○複数の医療機関等の連携により、在宅におけるターミナルケアを一層推進
○在宅療養の補完的な役割を担うものとして、看取りまで含めた医療提供体制を構築